

第66号

令和3年(2021年) 2月15日

発行人

NPO法人成田・里山を育てる会

成田・里山通信

理事長

電話

事務局

電話

富樫 武

0476-27-3487

相原 亮司

0476-35-1550

謹賀新年

令和3年 正月



作年はコロナウイルスに振り回された年でした。
来年は心から「明けましておめでとうございます」が言える新年を迎えたい
マスク着用と密接を避けコロナに打ち勝つと同時に安全面にも注意を払い
以前のように楽しい里山活動が出来ることを祈ります。

11月 12月 1月 活動&イベント

11月6日 共同展園 自由参加 1名

8日のさつま芋堀に先だち佐藤陽一さんに
さつま芋の蔓切りをして頂きました。
ありがとうございました、とお疲れ様でした

11月7日 花の回廊 自由参加 11名

サクラの小公園草刈り
サクラの木に施肥



サクラに施肥 花の回廊

11月8日 さつま芋堀り 自由参加 13名
会員の他賛助会員、野外体験親子、と総
勢30名を超す参加がありました。

*今回も児童の参加があり大きな芋を掘り当
てては、はしゃぐ声が畑いっぱいに響き
わたっていました。

11月22日 アグリパーク 自由参加 13名

キンラン・ギンラン自生地草刈り
ロウバイ畑草刈り
ロウバイの木に絡みついたツル性植物の除去
植林したサクラ間伐

11月15日 依頼林 定期活動 13名

畑ヶ田地区石井秀美さんの依頼林草刈り
山中に鳥が種を運んできた南天と万両が
赤い実を付けたのが数多くあり気持ちを
和らげてくれました。



サツマイモ堀の参加者 2020年11月8日



2020年 最大級のサツマイモ

11月 12月 1月 活動&イベント

12月5日 遊歩道 自由参加
雨模様のため作業中止
決行か中止か判断に苦労するような天気、
様子見に4名が現場へ行く

12月6日 果樹園 自由参加 13名
果樹園内草刈り、ブルーベリーに施肥
栗の木枯れ枝切り、
キノコ園整備と手入れ
高仲ヒノキ林 間伐
昨年剪定した栗の枝 焼却処分
果樹園入口道路両側草刈り

12月13日 忘年会 定期活動 16名
午前中、継続中の石井さん所有林草刈り
一部の方は忘年会の準備。
恒例のバビキューは中止して仕出しの弁当
で今年の締めくくりとなりました。
富樫理事長の挨拶にもありましたが、コ
ロナ禍の中事故もなく年末を迎えられたこ
とは素晴らしい出来事です。来る年もこれ
を続けられることを願っています。

12月20日 アグリパーク 自由参加 14名
栗の花畑 通路作り
櫓の大木伐採(ロウバイや露の陽当たりを
良くするための対策として伐採した
ロウバイ剪定
冷たい風で寒い一日、コロナウイルスと防
寒対策で全員マスク着用

12月26日 役員会 遠山公民館 7名
2021年活動予定

- ① 1月 2月 3月
植林 ヒノキ間伐 タケノコ堀の竹林整備
キノコ種ゴマ打ち込み などなど
- ② 4月~9月
草刈り等 整備維持作業
- ③ 10月~冬期間
里山 森作り 自然公園整備作業
*活動時の安全確認についても討議された
2021年1月9日 遊歩道 自由参加 12名
竹伐採跡地 植林準備 予定場所穴掘り
植林地 クヌギ サクラ 間伐
間伐材はキノコ栽培に利用予定



里山は冬を迎えたが、万両や赤南天の実
が森を明るくしていました



1月10日 果樹園 自由参加 11名
栗の選定
篠竹刈り倒し 駐車場の予定
高仲ヒノキ林 間伐 枝打ち
剪定した枝の処理
*昨日に続き寒い一日でした

1月17日 定期活動 12名
毎年タケノコ堀りをする佐藤陽一さん所有の
竹林間伐と整備
小さな竹と枝はシュレッダーで処分

1月31日 アグリパーク 自由参加 12名
植林地クヌギ間伐
間伐材はキノコ栽培に使用
全体草刈り
竹伐採
風倒木の処理



ロウバイ
果樹園
2021年
1月20日

11月 12月 1月 活動&イベント



参加者 延べ人数
148名
*新入会員 稲葉 修氏

早咲きの梅 果樹園

さとやまに自生する山野草 ④1

ツワブキ (石蓂、艶蓂)

ツワブキは、キク科ツワブキ属の常緑多年草分布

本州太平洋側では福島県から、日本海側では石川県から西の地域及び、四国、九州、南西諸島に分布

生育環境

岩の上や崖の上などに自生する、ほかに低地から山地の日陰にも多い。

葉に斑入り種が観賞用に庭園にも植えられる。

形態・生態

冬も緑が茂り、何年も生きる。

同じキク科のフキに似るが、フキは秋に葉を落す夏性植物でツワブキとは別属種。



観賞用 斑入りツワブキ

名前の由来：

石蓂の花（つわのはな）やイシフキは冬の季語、島根県津和野の地名は「石蓂の（ツワの多く生えているところ）」が由来とされている。

利用：

鹿児島県 沖縄県を中心に西日本の一部地方ではフキと同じように葉柄を食用としており、特に奄美大島では奄美料理で豚肉と煮て年越し料理とされる。

食用には葉柄の皮を取り、茹でて水に晒し苦味をとって調理される。

観賞用、薬用にも利用される。



ツワブキの花

オケラ・おけら (朮)

オケラとは：

*北海道を除く日本各地に分布するキク科の多年草。

*若菜を食用に、根を正月の御屠蘇に使用

*万葉の時代からウケラで親しまれ、これが転じてオケラとなったとか。

開花時期：9～10月

花の色：白または淡いピンク

背丈：20～90センチ

*開花は秋で、枝先にアザミに似た白い筆のような小花を咲かせる

*雌雄異株で雌株に果実ができる

*12月に入り果樹園通路の林の中あるのを教えられました、しかし、開花の時期を過ぎていて花は綿状でした、花の後には果実も見られました。

こんな身近な場所にあるのを知らずに過ごしてきた、まだまだ観察する力が足りません。

*オケラと聞くと虫のオケラしか思い浮かばなかった。



おけらの花



花後は綿状なる



オケラの果実

